

連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結 会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
営業収益 Point ①	1,695,867	1,793,618
営業原価	1,538,524	1,654,085
営業総利益	157,342	139,532
販売費及び一般管理費	65,220	62,333
営業利益 Point ②	92,121	77,199
営業外収益	3,816	8,618
営業外費用	1,917	1,487
経常利益	94,019	84,330
特別利益	975	18,038
特別損失	3,235	21,328
税金等調整前当期純利益	91,759	81,040
法人税等	34,825	23,968
当期純利益	56,934	57,071
非支配株主に帰属する当期純利益	233	1,115
親会社株主に帰属する当期純利益 Point ③	56,700	55,956

ポイント解説

Point ①

営業収益は、成長が加速するEC領域への対応により取扱数量が増加したことや、お客様の物流最適化に注力した結果、前連結会計年度に比べ977億50百万円増加し1兆7,936億18百万円となりました。

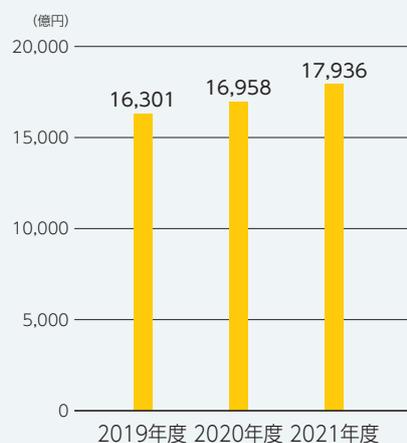
Point ②

営業利益は、燃料単価の上昇傾向に加え、中期経営計画「Oneヤマト2023」の推進に伴う費用が増加したことにより、前連結会計年度に比べ149億21百万円減少し771億99百万円となりました。

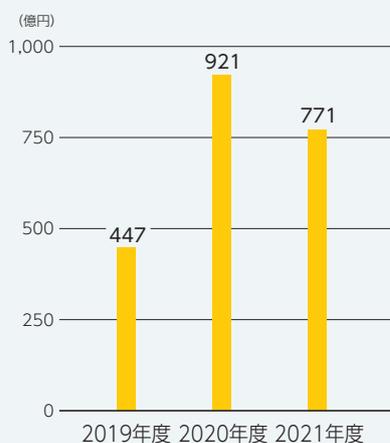
Point ③

親会社株主に帰属する当期純利益は、投資事業組合運用益および政策保有株式の売却益を計上した一方で、退職給付制度改定費用を計上したことに加え、関係会社の事業譲渡に伴う株式売却損により、当連結会計年度の課税所得を縮小させたことなどから559億56百万円となり、前連結会計年度に比べ7億44百万円の減益にとどめることができました。

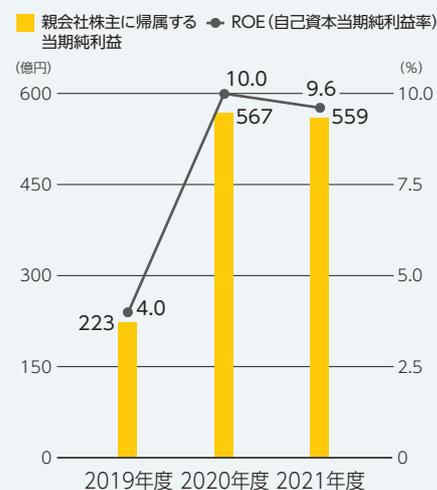
営業収益



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益 / ROE (自己資本当期純利益率)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2021年3月31日	当連結 会計年度 2022年3月31日
【資産の部】		
流動資産	528,379	480,844
固定資産	561,612	606,010
有形固定資産	406,312	429,878
無形固定資産	29,555	45,646
投資その他の資産	125,744	130,484
資産合計 Point ①	1,089,991	1,086,854
【負債の部】		
流動負債	389,369	352,807
固定負債	116,334	135,814
負債合計 Point ②	505,704	488,621
【純資産の部】		
株主資本	556,070	578,991
その他の包括利益累計額	20,297	11,551
非支配株主持分	7,919	7,690
純資産合計 Point ③	584,287	598,233
負債純資産合計	1,089,991	1,086,854

ポイント解説

Point ①

資産合計は、現金及び預金が減少した一方で、車両運搬具やソフトウェアを取得したことで固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ31億36百万円減少し1兆868億54百万円となりました。

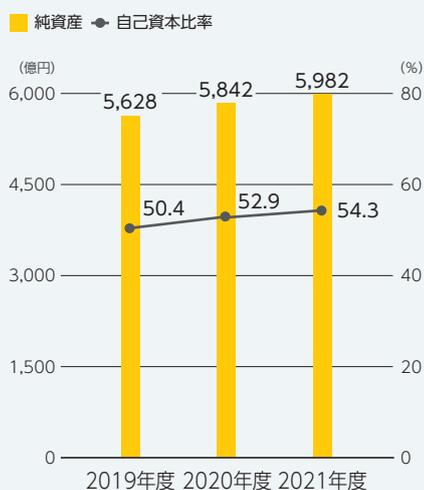
Point ②

負債合計は、短期借入金および未払法人税等が減少した一方で、退職金制度の改定に伴い退職給付に係る負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ170億82百万円減少し4,886億21百万円となりました。

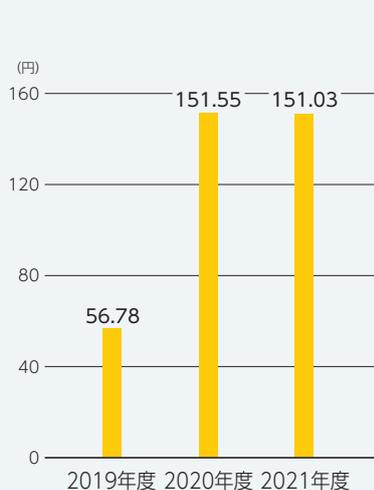
Point ③

純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純利益が559億56百万円となった一方で、剰余金の配当を実施したことおよび自己株式を取得したことなどにより前連結会計年度末に比べ139億46百万円増加し5,982億33百万円となりました。

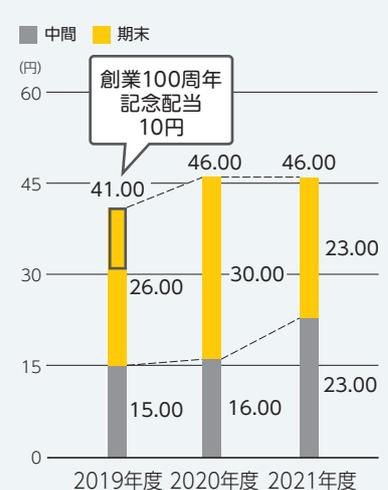
純資産／自己資本比率



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



連結財務諸表(要旨)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2020年4月1日～ 2021年3月31日	当連結 会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	123,921	52,016
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	44,078	△58,943
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△123,247	△54,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	701
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,622	△60,681
現金及び現金同等物の期首残高	196,662	241,284
現金及び現金同等物の期末残高	241,284	180,603

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<https://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス IR

検索

ポイント解説

Point 1

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が減少したこと、未払消費税等の増減額および法人税等の支払額が支出増加となったことにより前連結会計年度に比べ収入が719億4千万円減少し520億16百万円の収入となりました。

Point 2

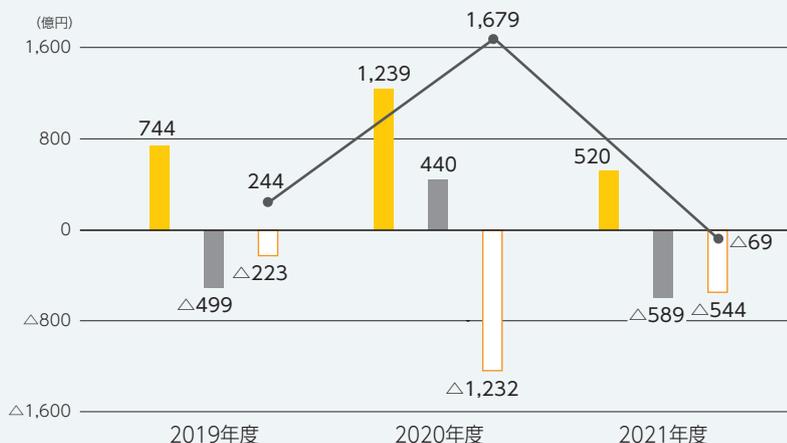
投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付金の回収による収入が減少したことにより前連結会計年度に比べ収支が1,030億21百万円減少し589億43百万円の支出となりました。

Point 3

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の収支が増加したことおよび自己株式の取得による支出が減少したことにより前連結会計年度に比べ支出が687億91百万円減少し544億56百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー □ 財務活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ● フリー・キャッシュ・フロー



自己株式の取得と消却について

当社は、株主価値向上のため、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策として、2022年2月から5月の期間で自己株式を約200億円、875万株取得するとともに、2022年6月に同株式を消却しました。